

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (市たばこ耕作共励会助成事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (050103000828), 政策体系 (0501 農業の振興), 予算科目 (010601030300), and 事業期間 (単年度繰返し).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the tobacco cultivation promotion and subsidy procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標). Rows include participation in meetings and information exchange events.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標), 期間限定総投入量. Rows include 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人件費 (正規職員従事人数, etc.).

Table with 4 columns: 27年度事業費実績 (千円), 28年度事業費予算 (千円), 合計. Row 19 shows 負担金補助及び交付金 with a value of 200.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	市たばこ耕作共励会助成事業	事務事業No.	50103000828	所属課	農林課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・葉たばこ耕作の振興及び、安定した農業経営を実現するための事業助成として始まった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・生産性向上を図る農業振興が目的であることから適切である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・特産作物の振興という観点から妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・耕作者、作付面積、共に減少していることから、現状維持が精一杯である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・現時点では所得があまり多くないことから、助成金がなくなると会の運営が厳しくなる。今後、技術向上により生産所得が向上してくれば自主運営できるようになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 外に類似する事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・毎年度助成費が削減されてきていることから、現時点では削減は難しいが、今後生産所得が向上することにより、段階を経て削減していければ考える。・人件費については、最小限の事務のためこれ以上の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・受益者負担もあり、均衡が取れているため公平と考える。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成27年度は20名で運営をおこなっている。しかしながら、今後よりいっそうの品質向上を目指し、10a当たり50万円を目標にする。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	コスト			維持	削減	維持	増加	低下		○	
成果	向上		コスト											
	維持		削減	維持	増加									
	低下		○											
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果	⑧													
コスト削減優先度評価結果	⑥													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>